

## 2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		身体拘束に関するマニュアルの作成	全職員での基本的な考え方、知識の共有 施設内研修や各種研修、講習会への参加	<ul style="list-style-type: none"> <li>・身体拘束の共通認識、知識の習得</li> <li>・各種研修、講習への積極的な参加</li> <li>・職員によるマニュアル作成会議</li> </ul>	6か月
2		知識、技術の共有	介助、介護に関する新たな知識、技術取得 知識、技術の研修(施設内外)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新しい知識取得の研修、講習、勉強会の開催</li> <li>・入居者本位の介助、介護の共有</li> <li>・入居者及び職員に過度な負担の無い介護</li> </ul>	6か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。